Twinkle 東京女子医科大学学術リポジトリ
Tokyo Women's Medical University - Information & Knowledge Database
https://twinkle.repo.nii.ac.jp

Eosinophilic otitis media is associated with asthma severity and smoking history.

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-01-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 瀬尾, 友佳子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/31342

様式（6）

学　位　審　査

学　位　番　号	乙 第 2869 号	氏　　名	瀬尾　友佳子
審　査　委　員　会	主　査　教　授	吉原　俊雄	

論文審査の要旨（400 字以内）

好酸球性中耳炎（EOM）は難治性の中耳炎で、その約 90％に喘息を合併し、一方で喘息の約 10％に EOM を合併する。本研究は EOM 合併群と非合併群で喘息の臨床像の相違について検討を行ったものである。喘息合併慢性鼻副鼻腔炎患者 41 例中、EOM 合併群 14 例、非合併群 27 例の各群における、喘息の risk factor（喘息発症年齢、Body mass index (BMI)、アスピリン過敏性、喘息の家族歴、喫煙歴、Brinkman index(BI)）、血液検査所見（血中好酸球数、総 IgE 値）、喘息重症度、呼吸機能検査、高分解能ヘリカル CT による気管壁の肥厚率、気腫化の有無を検討し、EOM 合併群では、喘息重症例が多く、気管支壁肥厚率、血中好酸球数、BI が有意に上昇していた。本研究から、EOM は喘息が重症で血中好酸球数が高い症例に合併しやすいことが判明した。また、その喘息重症度は喫煙歴による気管支壁肥厚と関係することが示唆され、喘息治療の早期介入により EOM の改善する可能性を示す論文で将来の発展が期待される。

本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に学務部医学部大学院課へご提出下さい。（本学学会雑誌に公表）[学校教育法学位規則第 8 条]